

# 神奈川県

## 環境マネジメントプログラムの進捗状況について

(2020 (令和2) 年度)

### 目次

	頁
1 地球温暖化の防止に向けた率先行動プログラムの進捗状況 .....	1
2 循環型社会づくりに向けた率先行動プログラムの進捗状況 .....	6
参考 令和2年度 神奈川県環境マネジメントシステムの目標達成状況一覧 .....	15

## ○ 神奈川県環境マネジメントシステムについて

神奈川県では、本県独自の環境マネジメントシステムにより、継続的な環境配慮の向上を目指すとともに、簡素で効率的な環境配慮を推進することを目指している。

本システムでは、環境方針の目的を達成するための具体的な到達点を「環境目標」（以下「目標」という。）、達成するための具体的な取組内容を「環境マネジメントプログラム」（以下「プログラム」という。）として定めている。

現在、重点的に取り組むべき「地球温暖化の防止」及び「循環型社会づくり」の2項目について、目標及びプログラムを設定して取り組んでおり、毎年その進捗状況を報告している。

## 1 地球温暖化の防止に向けた率先行動プログラムの進捗状況

本プログラムは、温室効果ガス総排出量に大きく関与する、各庁舎のエネルギー使用量の削減、浄水場のエネルギー使用量の削減、道路照明への省エネルギー型の照明ランプの導入等を、それぞれの所属の権限と責任の下で進めるものである。

### 地球温暖化の防止

- ① 本庁<sup>1</sup>庁舎の電力使用量の削減
- ② 出先機関<sup>2</sup>等の庁舎の電力使用量の削減
- ③ 警察の庁舎の電力使用量の削減
- ④ 浄水場の電力使用量の削減
- ⑤ 道路照明の電力使用量の削減

※ 平成28年度まで温室効果ガス排出量を指標としていたが、平成29年3月に改定された「神奈川県庁温室効果ガス抑制実行計画」を踏まえて、平成29年度から電力使用量に係る全庁の目標・プログラム(①～⑤)を新たに設定した。

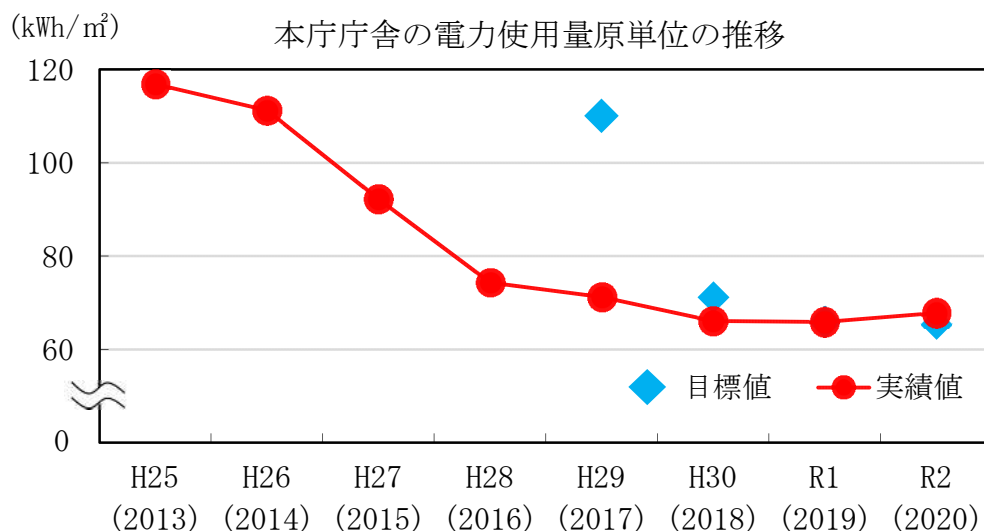
なお、①～③は庁舎の延べ床面積当たりの電力使用量を、⑤は道路照明1本当たりの電力使用量を指標としている。

<sup>1</sup> 本庁…知事部局においては「神奈川県行政組織規則」により定められた本庁機関。企業庁においては「神奈川県企業庁組織規程」により定められた本庁機関。教育委員会においては「神奈川県教育委員会教育局組織規則」により定められた本庁。なお、「地球温暖化の防止」の項目に限り、民間ビルに入居している教育委員会は庁舎の関係上、出先機関等に含まれる。

<sup>2</sup> 出先機関等…「<sup>1</sup>本庁」以外の機関。

### ① 本庁庁舎の電力使用量の削減

本庁庁舎の延べ床面積当たりの電力使用量(以下「電力使用量原単位」という。)は、目標値「65.5 kWh/m<sup>2</sup>以下」に対して、実績は67.8 kWh/m<sup>2</sup>であった。前年度(65.9 kWh/m<sup>2</sup>)と比べて1.9 kWh/m<sup>2</sup>(2.9%)増加した。

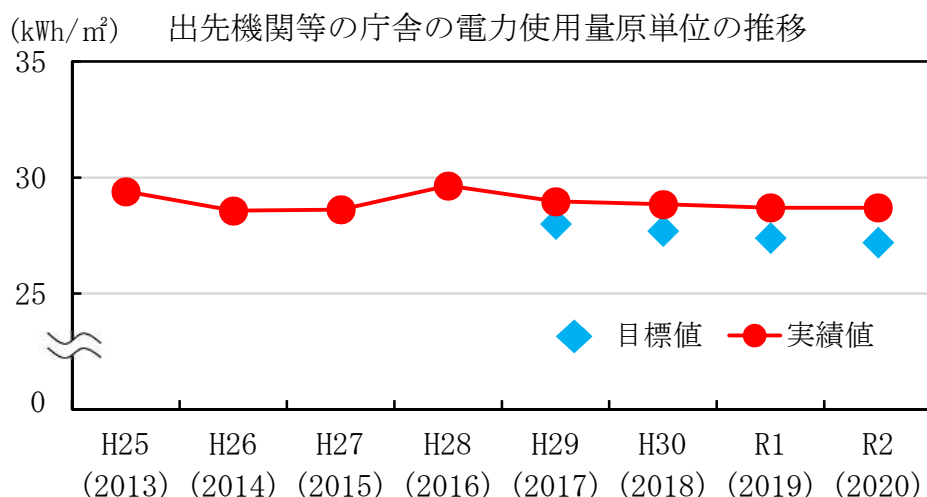


#### 【分析】

新型コロナウイルス感染症対策に伴う換気の徹底により、空調効率が低下し、前年度より電力使用量が増加した。

### ② 出先機関等の庁舎の電力使用量の削減

出先機関等の庁舎の電力使用量原単位は、目標値「27.2 kWh/m<sup>2</sup>以下」に対して、実績は28.9 kWh/m<sup>2</sup>であった。前年度(28.7 kWh/m<sup>2</sup>)と比べて0.2 kWh/m<sup>2</sup>(0.7%)増加した。

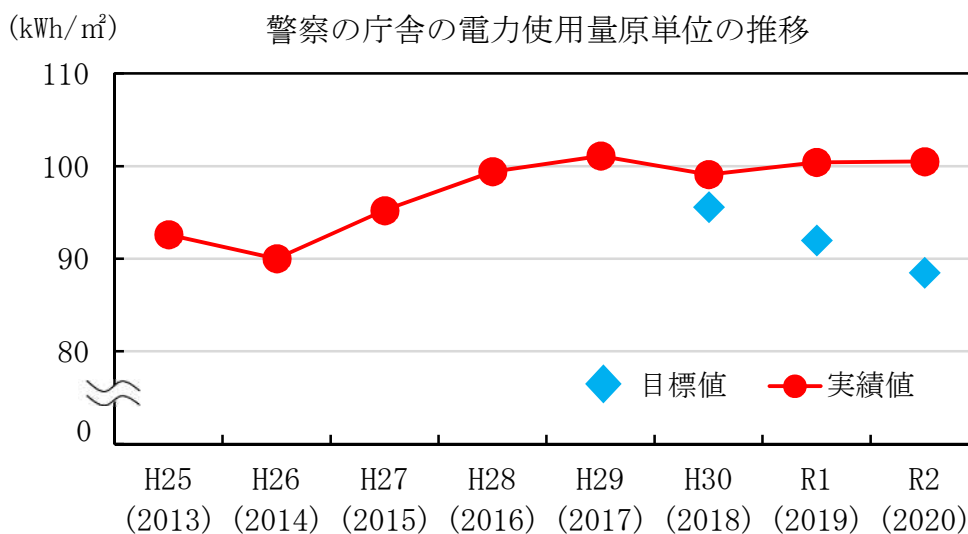


#### 【分析】

新型コロナウイルス感染症対策に伴う事業休止、テレワーク等による電力使用量の削減の影響がある一方で、健康配慮による空調使用の増加や換気により、空調効率が悪化した等の理由から前年度並みとなった。

### ③ 警察の庁舎の電力使用量の削減

警察の庁舎の電力使用量原単位は、目標値「88.5kWh/m<sup>2</sup>以下」に対して、実績は100.5 kWh/m<sup>2</sup>であった。前年度（100.4 kWh/m<sup>2</sup>）と比べて0.1 kWh/m<sup>2</sup>（0.1%）増加した。

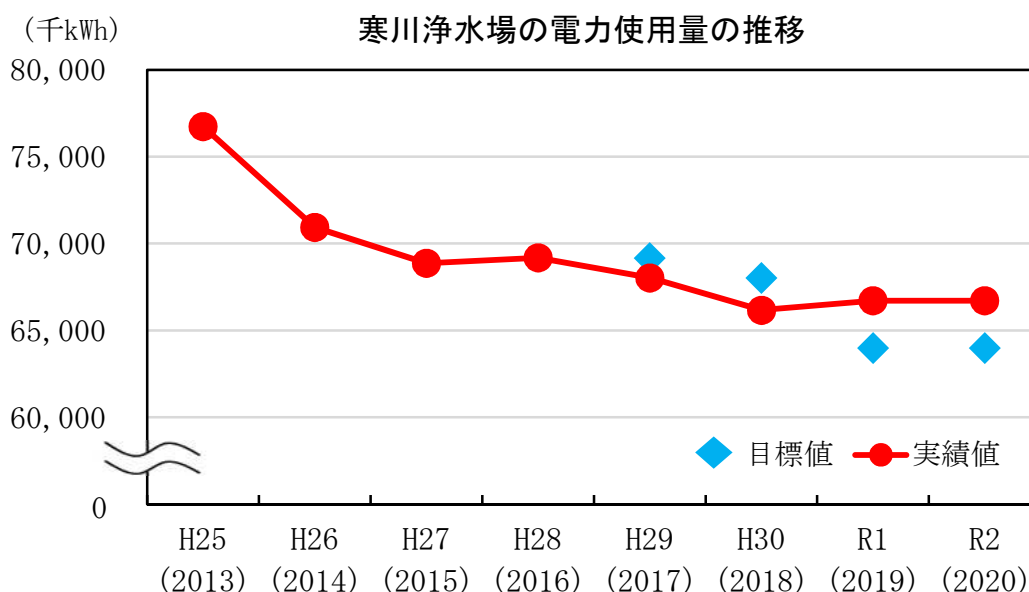


#### 【分析】

新型コロナウイルス感染症対策としてテレワーク等の実施による電力使用量の削減の影響、健康配慮による空調使用の増加や換気により、空調効率が悪化した等の理由から前年度並みとなった。

### ④ 浄水場の電力使用量の削減

ア 寒川浄水場の電力使用量は、目標値「64,000千kWh以下」に対して、実績は67,334千kWhであった。前年度（66,720千kWh）と比べて614千kWh（0.9%）増加した。

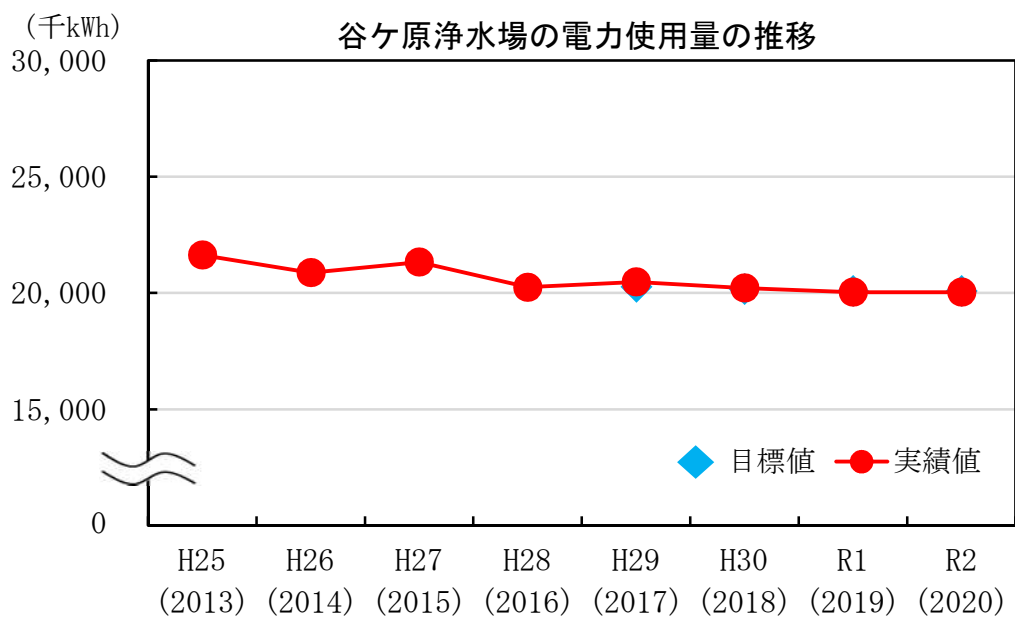


#### 【分析】

前年度と比べて送水量が増加したことで、電気使用量が増加した。

※ 浄水場の電力使用量は、送水量の影響を大きく受ける（谷ヶ原浄水場も同様）。

イ 谷ヶ原浄水場の電力使用量は、目標値「19,992 千 kWh 以下」に対して、実績は 20,408 千 kWh であった。前年度（20,038 千 kWh）と比べて 370 千 kWh（1.8%）増加した。

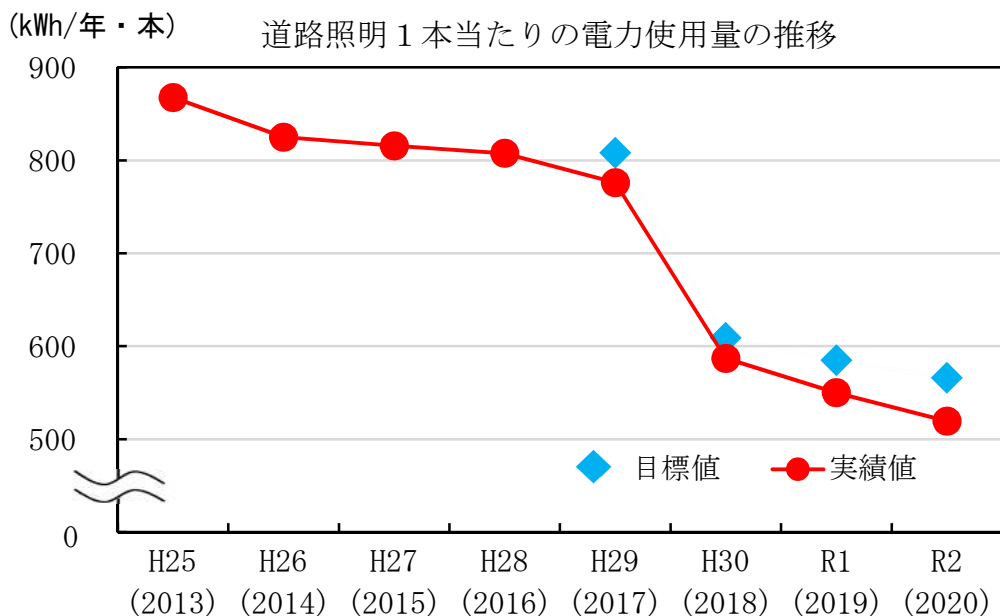


【分析】

前年度と比べて送水量が増加したことで、電力使用量が増加した。

⑤ 道路照明の電力使用量の削減

道路照明 1 本当たりの電力使用量は、目標値「566 kWh/本以下」に対して、実績は 519 kWh/本であった。前年度（550 kWh/本）と比べて 31 kWh/本（5.6%）減少した。



【分析】

水銀灯やナトリウム灯から消費電力の低いLED照明に交換したことで、電気使用量が減少した。

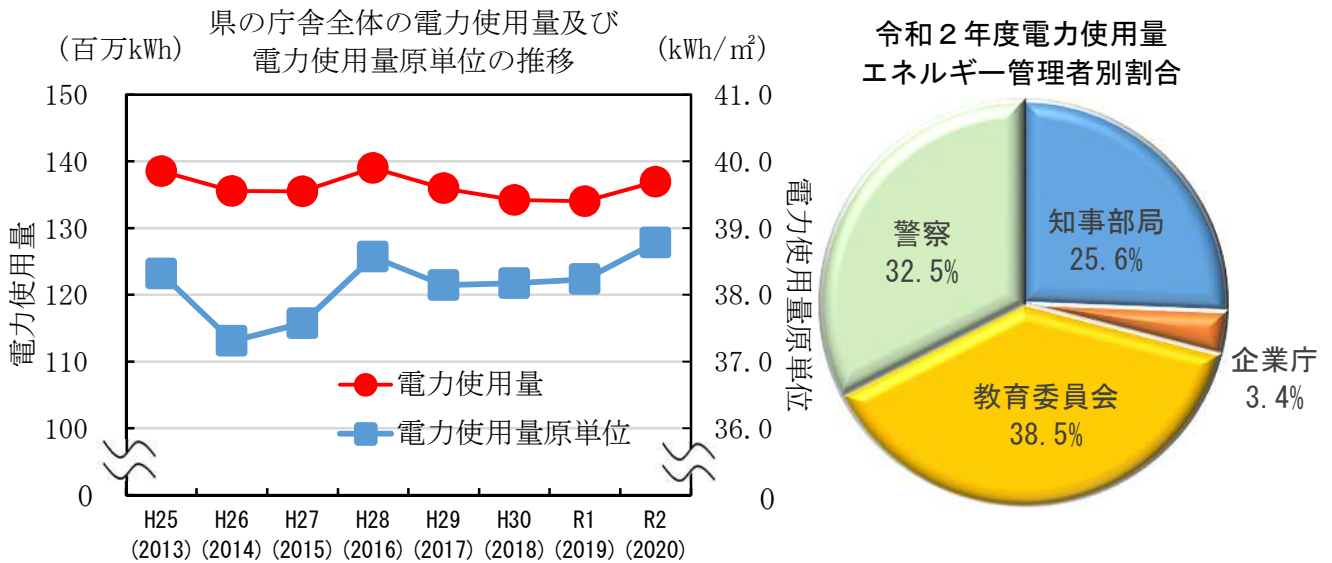
## 【参考】

### ○ 県の庁舎全体の電力使用量の推移

環境マネジメントシステムにおける庁舎全体(①～③の合計)の電力使用量及び電力使用量原単位の推移、並びに電力使用量のエネルギー管理者別割合は次のとおりである。

令和2年度の電力使用量及び電力使用量原単位はやや増加した。

エネルギー管理者別割合については、前年度と同様、教育委員会が約39%、警察が約32%、知事部局が約26%、企業庁が約3%を占めた。なお、最も多い教育委員会については、電力使用量の約9割弱を県立学校が占めている。



### ○ 「神奈川県電力のグリーン購入要綱」の適用状況

平成29年9月に「神奈川県電力のグリーン購入要綱」を改正し、県の電力供給契約のうち、競争入札による調達の場合は特段の事由のない限り、随意契約の場合においても適用するよう努めることとした。これを受けて、平成29年度実績から環境マネジメントシステムで「神奈川県電力のグリーン購入要綱」の適用状況を把握することとした。

令和2年度においては、電力調達契約全体の予定使用電力量(340,165,265kWh)のうち、100%が要綱を適用した。

## 2 循環型社会づくりに向けた率先行動プログラムの進捗状況

本プログラムは、物品を購入して、事務事業活動を行い、廃棄物として排出するという一連の流れの中で環境配慮を行い、グリーン購入<sup>3</sup>、廃棄物の発生抑制、リユース、リサイクルを、それぞれの所属の権限と責任の下で進めるものである。

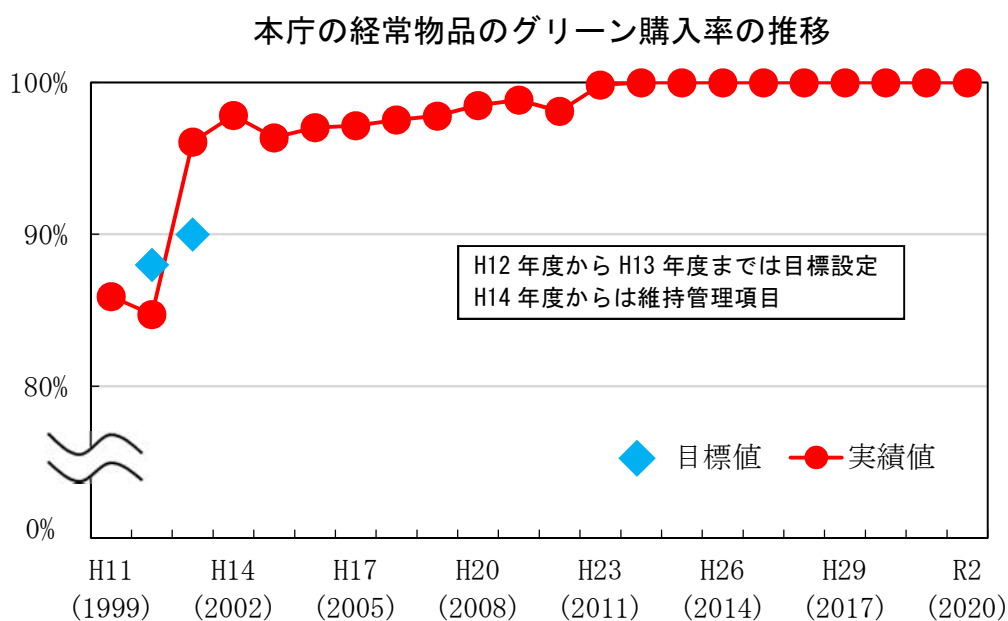
### 2-1 グリーン購入の拡大

- ① 本庁の経常物品のグリーン購入率<sup>4</sup>の向上
- ② 出先機関等のグリーン購入率の向上
- ③ 警察のグリーン購入率の向上

※ 全て維持管理項目<sup>5</sup>を設定して、プログラムを進めている。

#### ① 本庁の経常物品のグリーン購入率の向上

本庁の経常物品（紙や文房具などの事務用品等）のグリーン購入率は、維持管理項目としており、令和2年度実績は前年度に引き続き100%となった。



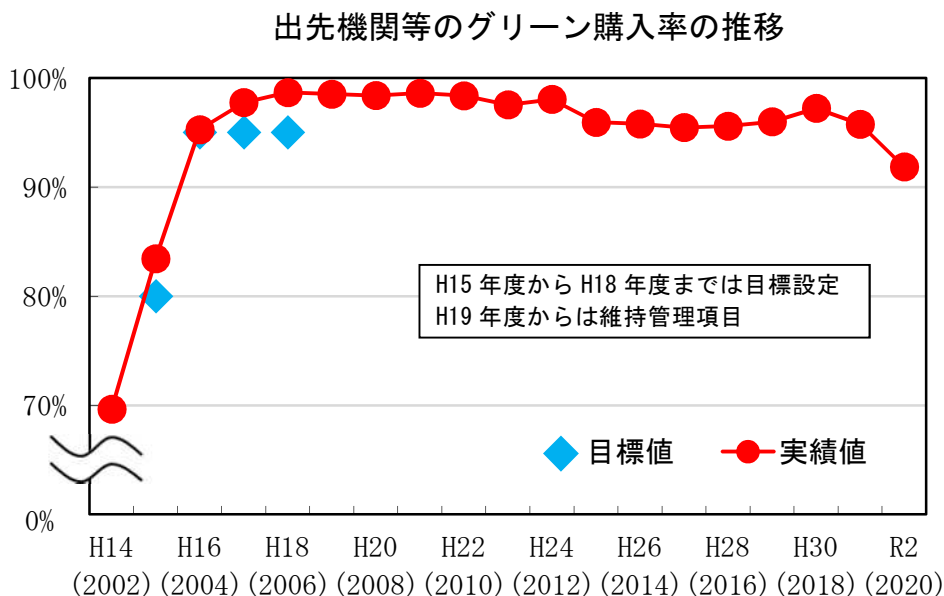
<sup>3</sup> グリーン購入…物品やサービスを購入する際に、価格や品質、デザインだけではなく、環境面について配慮すること。

<sup>4</sup> グリーン購入率…事務用品などの物品（経常物品）の購入金額に占めるグリーン購入法適合等の環境に配慮した物品の購入金額の割合。

<sup>5</sup> 維持管理項目…仕組みが確実に機能している等の理由により、実績数値は把握するが、新たな数値目標は設定しない項目。

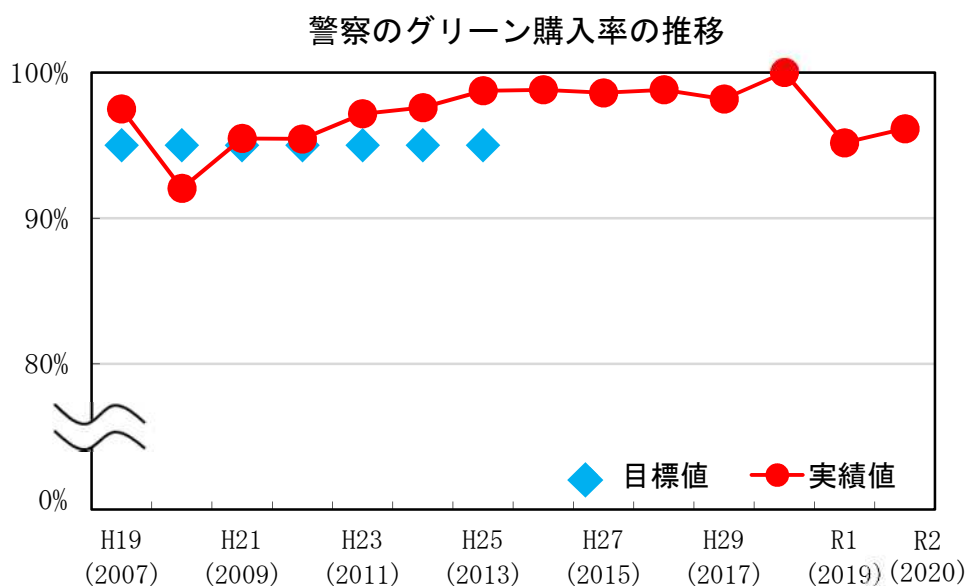
## ② 出先機関等のグリーン購入率の向上

出先機関等の紙や文房具などの事務用品等のグリーン購入率は、維持管理項目としており、令和2年度実績は91.9%となった。前年度（95.8%）と比べて3.9%減少しているが、主な理由として、川崎地域におけるコピー用紙のグリーン購入が入札不調となり、グリーン購入が行えなかったことがあげられる。



## ③ 警察のグリーン購入率の向上

警察の紙や文房具などの事務用品等のグリーン購入率は、維持管理項目としており、令和2年度実績は96.1%となった。前年度（95.2%）と比べて0.9%増加した。主な理由として、出先機関等と同様に川崎地域におけるコピー用紙のグリーン購入が入札不調だったが、一方で、その他の事務用品等のグリーン購入を徹底したことがあげられる。





## 2-2 廃棄物の削減

- ① 本庁の廃棄物発生量の削減
- ② 本庁のリサイクル率<sup>6</sup>の向上
- ③ 出先機関等の廃棄物発生量の削減
- ④ 出先機関等のリサイクル率の向上
- ⑤ 警察の廃棄物発生量の削減
- ⑥ 警察のリサイクル率の向上
- ⑦ 本庁のコピー用紙使用量の削減
- ⑧ 出先機関等のコピー用紙使用量の削減
- ⑨ 警察のコピー用紙使用量の削減

\* コピー用紙使用量については購入枚数として把握

※ ①～③、⑨は維持管理項目として、プログラムを進めている。

※ ④～⑧は数値目標<sup>7</sup>を設定して、プログラムを進めている。

### <「廃棄物発生量」及び「リサイクル率」の対象範囲の変更について>

平成 30 年度から、廃棄物発生量及びリサイクル率の対象範囲を次のとおり変更した。

#### ○ 廃棄物発生量

【旧】 焼却ごみ + リサイクル紙類 + リサイクル飲料容器

【新】 一般廃棄物 + 産業廃棄物 ※ 特別管理廃棄物を除く

#### ○ リサイクル率

【旧】

リサイクル紙類 + リサイクル飲料容器

---

焼却ごみ + リサイクル紙類 + リサイクル飲料容器

【新】

リサイクル紙類 + リサイクル飲料容器

---

一般廃棄物 + リサイクル紙類(有価物) + リサイクル飲料容器

※ 有価物ではないリサイクル紙類は一般廃棄物に含まれる

※ 対象範囲の変更による主な影響等

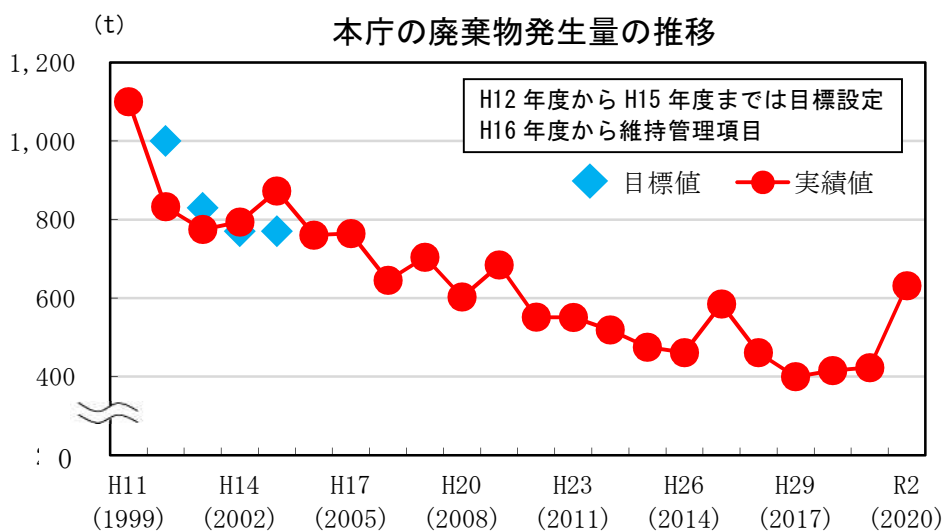
	廃棄物発生量	リサイクル率
リサイクル紙類	有価物は対象外とした	/
リサイクル飲料容器	飲料メーカーが回収する量は対象外とした	
全体	紙類・飲料容器で対象範囲が減少したものの、産業廃棄物を追加したため、増加傾向	飲料容器の対象範囲が減少したため、低下傾向

<sup>6</sup> リサイクル率…廃棄物の発生量全体に占める、リサイクルした紙類や飲料容器などの廃棄物量（重量）の割合。

<sup>7</sup> 数値目標…環境目標。環境方針の目的を達成するための具体的な到達点をいう。

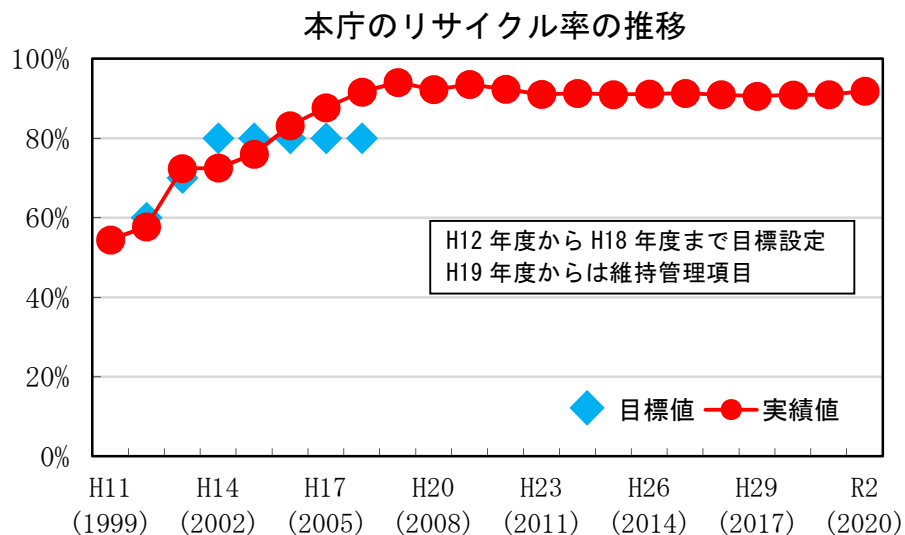
### ① 本庁の廃棄物発生量の削減

本庁の廃棄物発生量は、維持管理項目としており、令和2年度実績は631tとなった。前年度（423t）と比べて208t（49.2%）増加した。



### ② 本庁のリサイクル率の向上

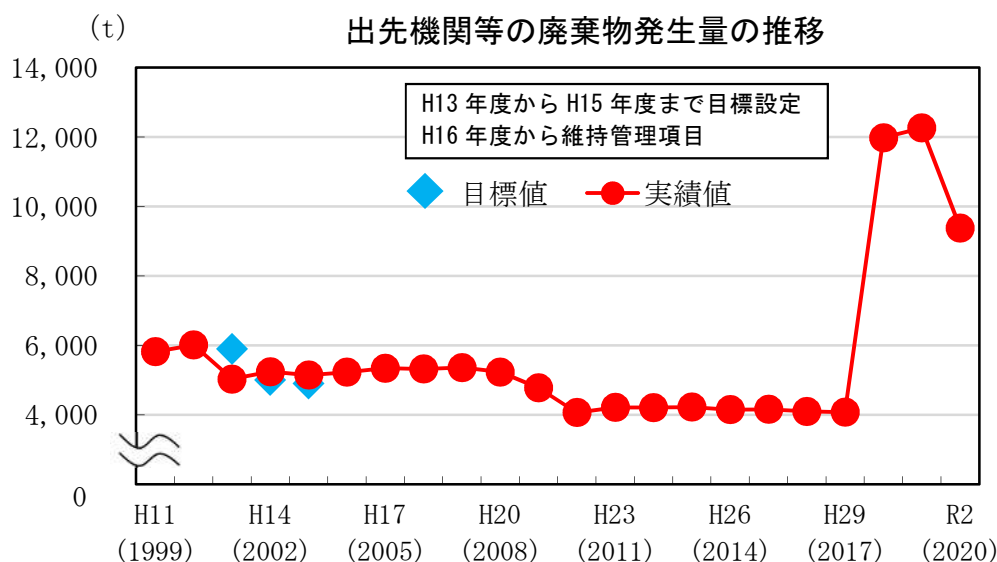
本庁のリサイクル率は、維持管理項目としており、令和2年度実績は91.9%となった。前年度（90.9%）と比べ1.0%増加した。



### ③ 出先機関等の廃棄物発生量の削減

出先機関等の廃棄物発生量は、維持管理項目としており、令和2年度実績は9,377tとなった。前年度(12,255t<sup>\*</sup>)と比べて2,878t(23.5%)減少した。

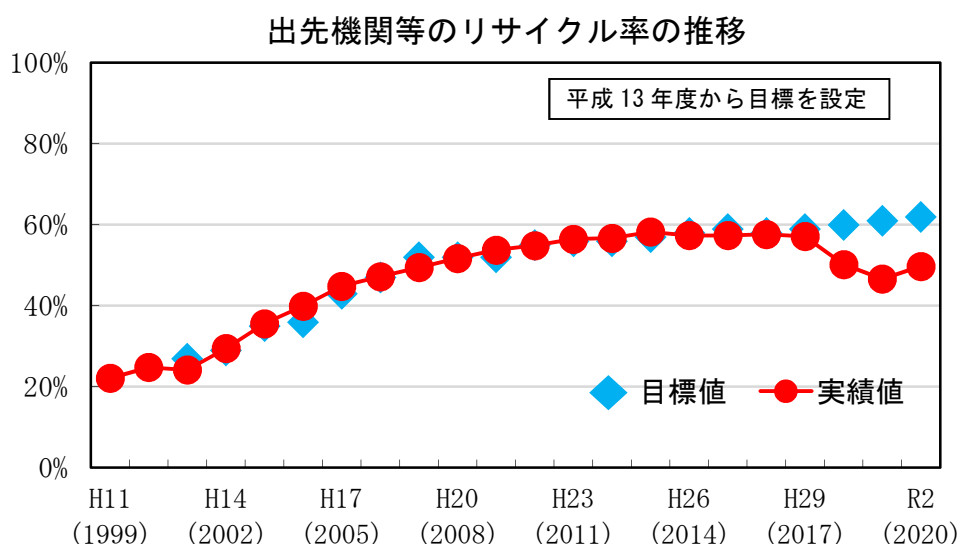
※ 令和元年度の報告値に不備があったため、実績値を修正



### ④ 出先機関等のリサイクル率の向上

出先機関等のリサイクル率は、目標値「62.0%以上」に対して、令和2年度実績は49.7%となった。前年度(46.6%<sup>\*</sup>)と比べて3.1%増加した。

※ 令和元年度の報告値に不備があったため、実績値を修正

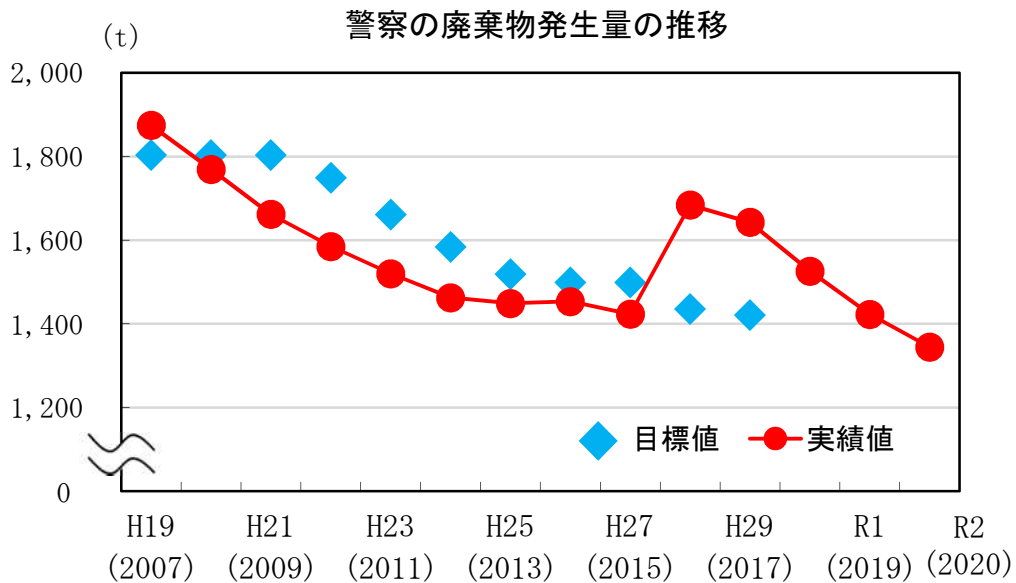


#### 【分析】

廃棄物の分別徹底を行っているものの、リサイクルできない廃棄物も一定量あることから、リサイクル率の飛躍的な改善は困難な状況である。

### ⑤ 警察の廃棄物発生量の削減

警察の廃棄物発生量は、目標値「前年度実績より削減」に対して、令和2年度実績は1,345tとなった。前年度（1,423t）と比べて78t（5.5%）減少した。

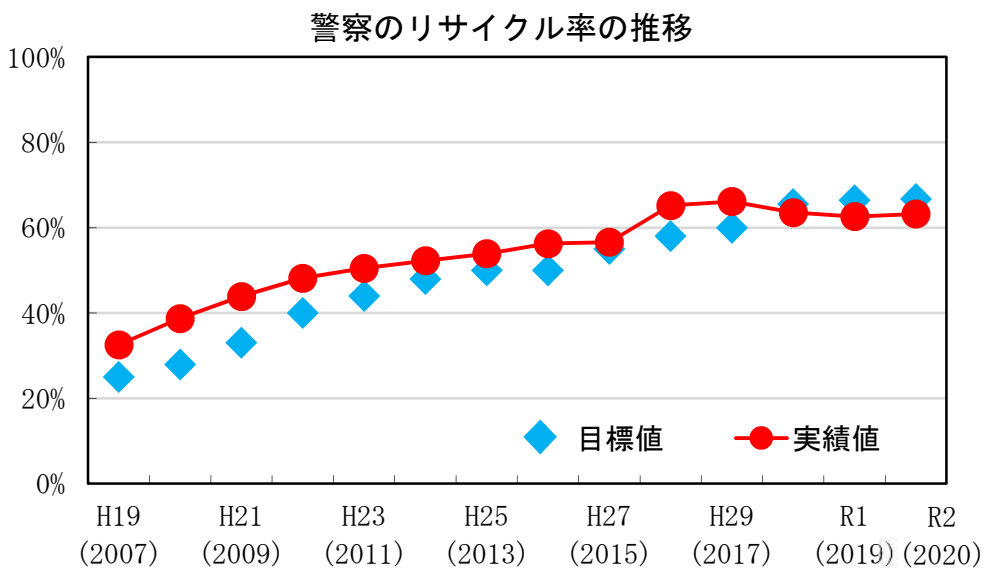


#### 【分析】

物品の再利用及びごみの分別の徹底を行い、前年度より減少した。

### ⑥ 警察のリサイクル率の向上

警察のリサイクル率は、目標値「66.7%以上」に対して、令和2年度実績は63.2%となった。前年度（62.6%）と比べて、0.6%増加した。

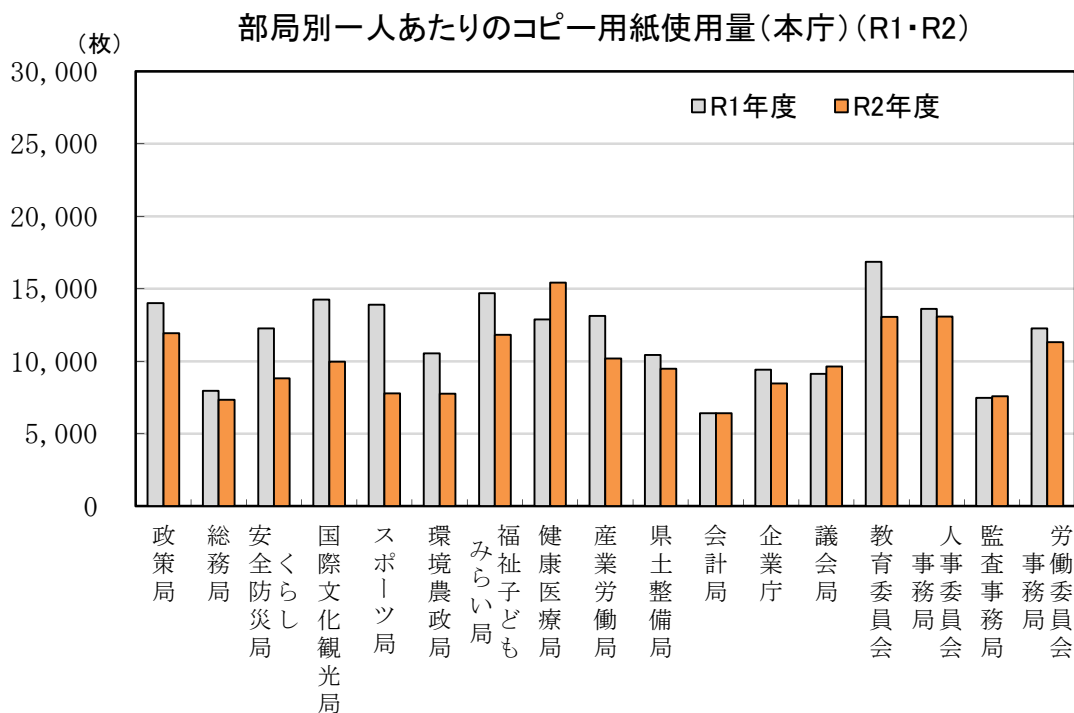
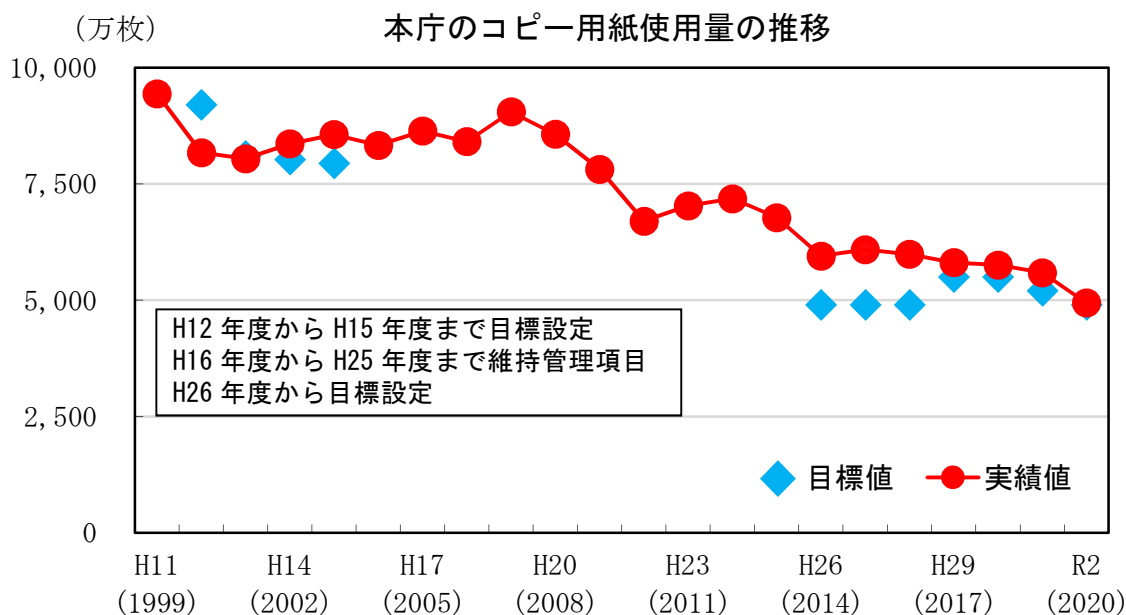


#### 【分析】

廃棄物の分別徹底を行っているものの、リサイクルできない廃棄物も一定量あることから、リサイクル率の飛躍的な改善は困難な状況である。

## ⑦ 本庁のコピー用紙使用量の削減

本庁のコピー用紙使用量は、目標値「4,900 万枚以下」に対して、令和2年度実績は4,941万枚となった。前年度（5,592万枚）と比べて651万枚（11.6%）減少した。

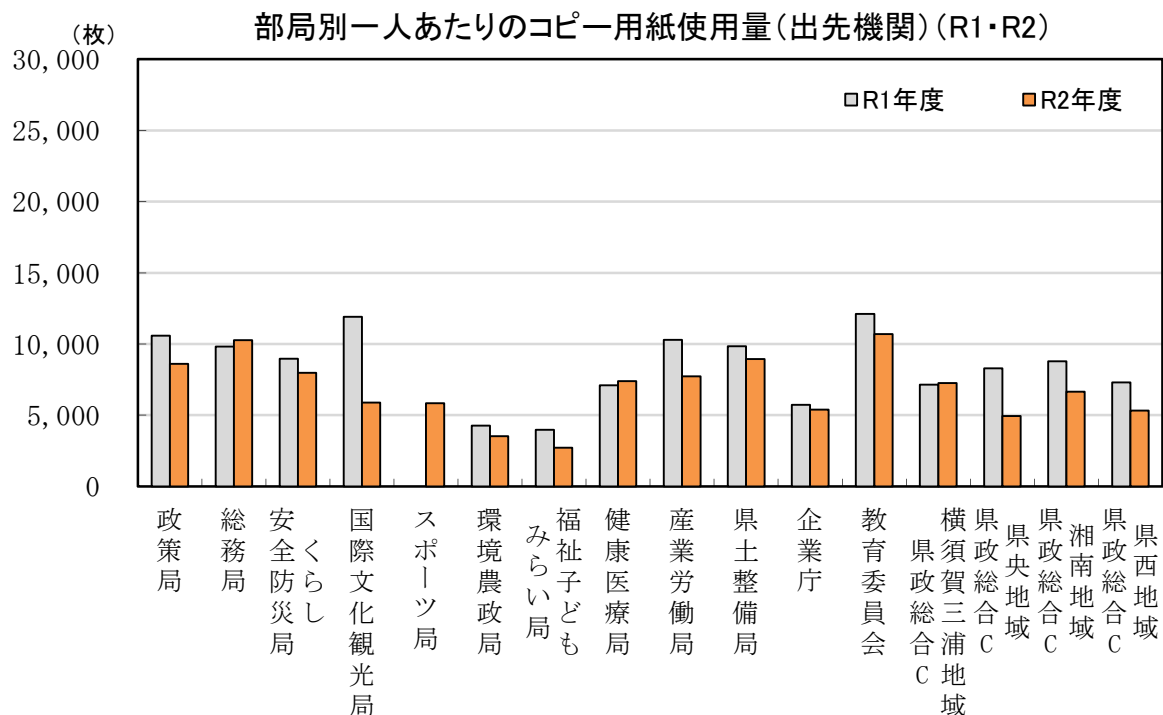
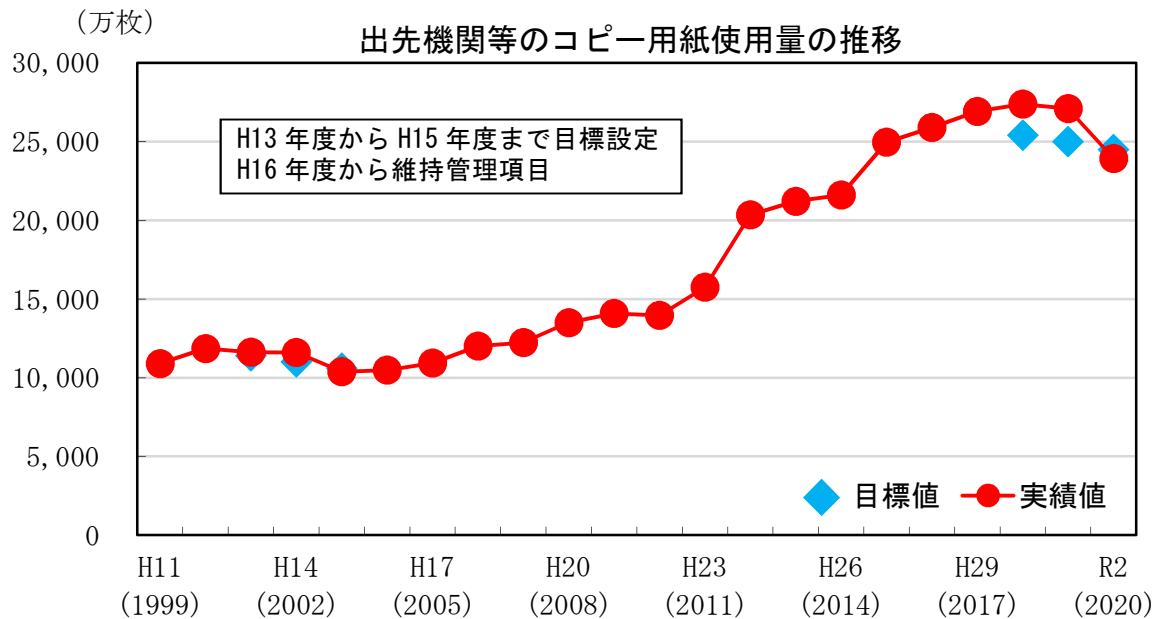


### 【分析】

両面印刷及び裏面利用等の取組や行政文書管理システムの利用促進により、使用量の削減に努めていること、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン会議の普及や事業休止の影響を受け、前年度より大幅に減少した。

### ⑧ 出先機関等のコピー用紙使用量の削減

出先機関等のコピー用紙使用量は、目標値「24,500万枚」に対して、令和2年度実績は23,935万枚となった。前年度（27,100万枚）と比べて3,165万枚（11.7%）減少した。



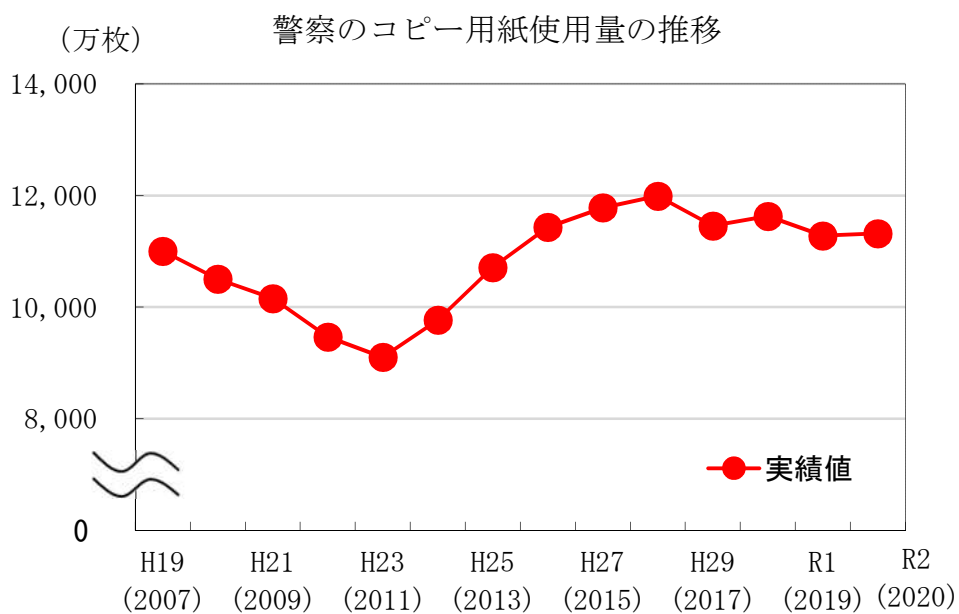
#### 【分析】

両面印刷及び裏面利用等の取組や行政文書管理システムの利用促進により、使用量の削減に努めていること、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン会議の普及や事業休止の影響を受け、前年度より減少した。

※平成23年度まで一部の所属において授業等で使用した紙の枚数を含めず集計していたが、平成24年度からこれも含めて集計することに統一したため、平成24年度実績から増加した。

### ⑨ 警察のコピー用紙使用量の削減

警察のコピー用紙使用量は、維持管理項目としており、令和2年度実績は11,321万枚となった。前年度（11,279万枚）と比べて42万枚（0.4%）増加した。



参考 令和2年度 神奈川県環境マネジメントシステムの目標達成状況一覧

プログラム	指標	R2 目標	R2 実績	達成状況	是正対応等
地球温暖化の防止	本庁庁舎の床面積当たりの電力使用量	65.5 kWh/m <sup>2</sup> 以下	67.8 kWh/m <sup>2</sup>	未達成	各所属が自主的に是正措置を講じている。
	出先機関等の庁舎の床面積当たりの電力使用量	27.2 kWh/m <sup>2</sup> 以下	28.9 kWh/m <sup>2</sup>	未達成	各所属が自主的に是正措置を講じている。
	警察の庁舎の床面積当たりの電力使用量	88.5 kWh/m <sup>2</sup> 以下	100.5 kWh/m <sup>2</sup>	未達成	各所属が自主的に是正措置を講じている。
	寒川浄水場の電力使用量	64,000 千 kWh 以下	67,334 千 kWh	未達成	送水量に大きく依存するため、是正になじまない。
	谷ヶ原浄水場の電力使用量	19,992 千 kWh 以下	20,408 千 kWh	未達成	送水量に大きく依存するため、是正になじまない。
	道路照明 1 本当たりの電力使用量	566 kWh/本 以下	519 kWh /本	達成	—
循環型社会づくり	本庁のグリーン購入率	維持管理項目	100.0%	—	—
	出先機関等のグリーン購入率	維持管理項目	91.9%	—	—
	警察のグリーン購入率	維持管理項目	96.1%	—	—
	本庁の廃棄物発生量	維持管理項目	631t	—	—
	本庁のリサイクル率	維持管理項目	91.9%	—	—



出先機関等の 廃棄物発生量	維持管理項目	9,377t	—	—
出先機関等の リサイクル率	62.0%以上	49.7%	未達成	各所属が自主的に是正措置 を講じている。
警察の廃棄物 発生量	前年度実績 (1,423t)より削減	1,345t	達成	—
警察のリサイ クル率	66.7%以上	63.2%	未達成	各所属が自主的に是正措置 を講じている。
本庁のコピー 用紙使用量	4,900 万枚以下	4,941 万枚	未達成	各所属が自主的に是正措置 を講じている。
出先機関等の コピー用紙使 用量	24,500 万枚以下	23,935 万枚	達成	各所属が自主的に是正措置 を講じている。
警察のコピー 用紙使用量	維持管理項目	11,321 万枚	—	—